

広島ドラゴンフライズ戦の  
始球式に招かれた山本主将  
Ⓡと小野寺太志選手(18日)



9、10日にあった北九州大会でのこと。宿舎の自室で事務作業中、山本将平主将が訪ねてきた。「マネジャーは大変ですね。僕には絶対できない仕事です」と言われたので、以前から抱いていた質問をぶつけてみた。「リービン(劉力賓選手)が抜けて陳(建禎)さんが入って、チームへの影響はどうだろう」

竹田 英司

ははだけ  
JTサンダーズ広島



## 山本将平 将たる器

山本主将は冷静に答えた。「チームは去年の経験も踏まえて強くなっていると思います。どちらの選手にも良さがある。得点能力で言えば、リービンは怪物でしたが若い分、粗削りな面もありました。陳さんは経験もあり、周囲の選手を生かすプレーをしてくれませう。だから陳さんの加入はチームにとって良い影響を与えています」

実はこの時まで、私は山本主将と私的な会話を交わしたことがほとんどなかった。私から主将には「選手代表として表敬訪問に…」など、依頼ごとが大半。主将からは「竹田さんはマネジャーになってまだ日が浅いから仕方ないですが…」など、立場上の会話が多かった。

初めてお互いの腹を割って話してみても実感した。「将平」の名前通り、将の将たる器を持った山本将平が率いるJTサンダーズ広島は強い。

(JT広島マネジャー)